

追悼文

追悼 大橋禎助先生

長谷川 義明 (61回)

53卒



元新潟高校教師大橋禎助先生は去る11月3日享年91歳でご逝去されました。謹んで哀悼の意を捧げます。

大橋先生は昭和24年4月から昭和55年3月まで実に31年間という長きにわたり新潟高校の数学の教師としてお勤めになられ、実に多くの同窓生がお世話に成りました。当時は国公立大学の理数系に進学するには特に数学は重要な鍵となる科目でありましたが、先生は大変分りやすく教えてくださり、苦手意識を払拭して受験できたように思います。

や東京での同期会にもご参加いただいたて居りました。先生にも気安く参加できるというお気持ちがおありだったようです。振り返って見れば60年を越す長いお付き合いとなりました。

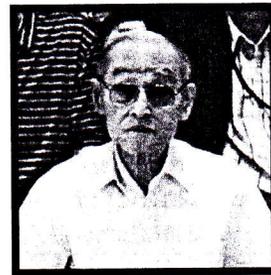
ご自宅に何台もの暮盤を用意されて、いつでも打ちに来て下さいと歓迎して頂きました。強豪であられた先生に勝てるようになりたいと通った友人もいましたし、奥様にも大変御世話に成りました。昨年の4月には先生の卒寿とわれわれの傘寿を祝う会合を行形亭で開催いたしました。先生が、先生の卒寿にしてなお元氣なご様子に、みんなが先生のように元氣で過ごしたいものだ。と人生の目標などと話し合っていたことでした。

人生の先達としてご指導いただいた先生に深く感謝申しあげますと共に、安らかなご冥福を心から祈念申しあげます。

恩師松澤先生を偲ぶ

今野 公和 (68回)

60卒



平成 23 年 9 月 11 日
五泉市浄林寺にて

去る平成25年9月7日午後2時、あるものは東京から、あるものは仙台から車いすで、また県内各地から併せて、21人の初老の男たち(71か72才だから老人か?)が、五泉市浄林寺に集結した。

昭和34年度(青山68回生)3年G組の有志が、当時の担任で平成25年3月29日に享年86才で亡くなられた恩師松澤先生のご仏前で、ご冥福をお祈りするためであった。その日は、温厚な先生の面影を偲びつつ、ご子息(ご住職)孝然様の重厚な読経に頭を垂れた。

浄林寺は、五百年に及ぶ浄土真宗大谷派の名刹で、松澤昭然先生は、昭和3年1月7日そこで産声を上げられ、新潟高校教師を退職後、二十二世の住職を務められたのである。東大理IIから医学部に進まれ、思うところあ

ろあつて、インド哲学を専攻され、昭和26年から56年まで新潟高校で世界史の教鞭を執られた。昭和35年3月卒業の3年G組は、男子生徒ばかりのため、潤いにかけるところあり、松澤先生の手をわずらわせるところ多かつたと思うが、同結力は堅く、温厚で真面目な先生を心から慕い申し上げる者が多かつた。平成23年にも、有志一同18人が、五泉市浄林寺に、当時お元氣だった松澤先生を訪れ、しばしの歓談の時を過ごした。そのときの松澤先生は、本當にうれしそうにしておられた。

お寺様からいただいた香典返しの手ぬぐいのお歌は、
「井の中の蛙に似たり
老いの身は
南無阿弥陀仏と
啼くばかりなり」

じょうりんじ しょうろ
松澤先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。 合掌